

【全校研究テーマ】

授業力向上 ～個別最適な学びと協動的な学びの一体的な充実～

1.概要

中学部では、図1で示しているように「視覚支援」「ICT」「自立活動」「キャリア」の4つのテーマの中から「興味・関心のあるテーマ」についてのアンケートを行い、各グループが4～6名程度になるように設定した。その後、意見交換会（3回）や授業見学を通して教員間で授業改善に向けた検討を行った。授業研究1年めとなる今年度は、中学部内で学年集団を中心にグルーピングし、授業の参観や意見交換をグループ内で行いやすいようにした。

テーマ希望アンケート

学部( ) 学年( ) 名前( )

○今年度の全校研究(授業実践交流)でご自身が取り組んでみたいテーマを選んでください。  
(○をつけてください)

「個別最適な学びと協動的な学び」の一体的な充実をめざして

テーマ	視覚支援	ICT活用	自立活動	キャリア
第1希望				
第2希望				
第3希望				

各学年の研究部までお願いします。



図1 中学部の研究の流れ

2.意見交流会の様子

【2回め】

初回の顔合わせ後の2回めの意見交流会では、前期の授業について授業者、参観者、意見を聞いた人の三者からキャリアなど各テーマの視点に沿った活発な意見交換がなされた。授業者、見学者だけでなく、両者の話を聞いた人からも相互に授業実践について意見や質問が交わされた。

話し合いでは、教科の枠を越えて授業とはどうすべきかという原点に立ち返った話から、具体的な教材の活用等について幅広く意見が出た。授業について小集団で話し合うことで、生徒の個別最適な学びに向けてじっくり意見を交換することができたという声が多かった。

【3回め】

3回めの意見交流会では、後半の授業についての検討と発表に向けてのまとめの協議をグループごとに行った。

全員がグループのテーマに沿った授業を実践し、グループごとに共有した。研究発表に向けた協議では、取り上げる授業、発表者などを決めポスターを作成した。グループのテーマに沿った授業の工夫、良かったところや課題を話し合い、まとめを行った。グループ各自で特色があり、各教科ごとに支援の実践を紹介するグループや、授業の初め・展開・まとめの場面ごとにICT活用を紹介するグループなど、発表に向けてそれぞれ多様な工夫が目立った。

3.交流会やアンケートを通して

【意見交流会】

ベテランから若手教員まで様々な経験の異なる教員がグループで討議することで、テーマに沿って様々な授業の観点での意見を共有することができた。交流を通して次回の授業ですぐに取り入れられる実践のアイデアもあり、授業改善に向けて教員が互いの授業を振り返って考えを深める機会となった。

【授業見学について】

空き時間に授業見学する時間を調整することは難しかったという声が多かった。代替りの方法として、授業の見てほしい場面を動画撮影して見合ったり、サブとして入っている授業での活動を取り上げたりした。今後の中学部内の授業の参観体制は係で検討が必要。

【研究発表 アンケート結果(中学部)】

アンケート(9件)

- ・少人数グループで実施した授業実践交流会について  
→過半数(7割)が「よかった」
- ・授業実践交流会を通じて授業力が向上したか  
→過半数(8割)が「できた」
- ・授業見学を通して[児童・生徒を見取る力]を意識できたか  
→過半数(7割)が「できた」
- ・ポスター発表形式はわかりやすかったか  
→過半数(6割)が肯定的

自由記述では、発表の際に声が聞こえにくかったという声が多発した。より発表会を良くするために、2グループが発表する場合、場所を離す、分ける等の対応してはどうかという意見があった。

また、グループごとの見学の仕方について、個人で自由に気になるポスターを見て回りたいという声も挙がった。

4. 来年度に向けて

今年度のグループ編成は各学年集団が中心だったが、他学年や他学部、教科間で授業について討議したいという声も挙がっていた。来年度については学年の枠を取り払って学部内で授業見学ができるようにやり方を検討して提案したい。

研究発表について、アンケートで挙がった意見を参考に受け入れながら今後検討していきたい。発表形式はおおむね肯定的だったため、ポスター発表という形式を継続しつつ、より良い実施の在り方や見学の仕方を考えていきたい。